

事業所名

リハビリンスキッズおゆみ野

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|----|----|-----|---------|----|--|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 支援を必要としている子どもたちが日々の暮らしの中で、当たり前のように教育的リハビリテーションを受けられる世界を構築する。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 個に応じた質の高いサービスを広く地域に普及すると目指して、専門職を中心に「チームアプローチ方式」を取り入れて、一人ひとりのお子さまに対して手厚くきめ細かな支援を実現する。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 0分 | から | 17時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人 支 援 | 健康・生活 | ・日常生活でのお困り（例：更衣動作、場面ごとの切り替え、物の準備片づけなど）を適宜伺い、ご本人に合わせた目標設定と実生活への反映を目指して取り組んでいきます。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・感覚遊び（振動、身体接触、回転）を通して、身体の理解を深めます。 ・運動遊びを通して動作の観察分析を行い、身体の様々な使い方を学んでいきます。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・課題や遊びを通して児童が考えて取り組める経験を積んだり、色々な物事への理解を深めながら、認知/行動面の発達ができるよう支援していきます。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・職員やお友達との関わりを通して、周りの人との気持ちの共有や、やり取りを楽しむ経験を重ねコミュニケーションの基盤を育てていきます。 ・児童に合わせた支援を行ない、それぞれが適切なコミュニケーションの方法を学べるよう支援していきます。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・職員・お友達と過ごす中で、遊び・興味の幅の広がり、更にはコミュニケーションの機会を作りながら、社会性を広げていきます。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 保護者様に、支援場面のご様子を写真や観察の機会を設けながら、児童の発達状態や関わり方などについてお話をしながらサポートを行っています。また、日常生活について保護者様からお話を伺い、悩み事や心配事が解消されるようにご相談しながら支援していきます。 | | | | 移行支援 | | 園や小学校での生活に向けて、準備支援や家庭で行えることなどをお伝えしサポートを行なっていきます。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 保護者様を通し登園先の様子を伺いながら、必要に応じて保護者様・登園先と本人に合う関わり方などを共有しています。 | | | | 職員の質の向上 | | 緊急時の対応、利用時の支援に関して、避難訓練等、定期的に事業所内研修やミーティングを実施しています。また外部で行なわれている研修にも積極的に参加しています。 | | |
| 主な行事等 | | | | | | | | | | |